

SAFe® Product Owner/ Product Manager

効果的なプランニングインターバルの実行によるバリューの提供

SAFe® Product Owner/Product Manager (POPM) になることで、リーンエンタープライズにおけるバリューのデリバリーをガイドするのに必要なスキルセットを身につけます。

この2日間のコースでは、アジャイルリリーストレイン (ART) において、プランニングインターバル (PI) を通じてバリューを提供する際に、自身の役割を効果的に果たす方法について深く理解することができます。リーン思考を適用してエピックをフィーチャーとストーリーに分解し、フィーチャーとストーリーをリファインし、ARTバックログとチームバックログを管理し、イテレーションとプランニングインターバルを計画および実行する方法を探ります。また、継続的デリバリーパイプラインとDevOps文化がARTのたゆまぬ改善にどのように貢献するかも探索します。

SAFe® Product Owner/Product Manager (POPM) 6.0 認定試験付き



SAFe® Product Owner/ Product Manager

SAFe® Product Owner/Product Manager (POPM) 6.0 認定試験付き



対象者

このコースの対象者は以下のとおりです。

- プロダクトオーナー、プロダクトマネージャー、プロダクトラインマネージャー、ビジネスオーナー、ビジネスアナリスト
- ソリューションマネージャー、ポートフォリオマネージャー、プログラママネージャー、LACEのメンバー
- エンタープライズアーキテクト、ソリューションアーキテクト、システムアーキテクト

プロダクトマネージャーとプロダクトオーナーは企業のトランスフォーメーションの中心にあり、そのパフォーマンスとSAFeに関する知識は、SAFeを採用することで達成可能なバリューの約束を果たす際に、大きな違いを生み出します。

学習内容

SAFe® Product Owner/Product Managerの役割を果たすには、以下の能力が求められます。

- プロダクトオーナーとプロダクトマネージャーの役割を明確にする
- SAFeリーンアジャイル原則とバリューをPO/PMの役割に紐づける
- エピックをフィーチャーに分解し、フィーチャーをストーリーに分解する
- ARTバックログとチームバックログを管理する
- アジャイルチームと協力して仕事の見積りと予測を行う
- プランニングインターバルプランニングにおいて顧客のニーズを提示する
- プランニングインターバルを実行し、継続的なバリューを提供する

取り扱いテーマ

- SAFeエンタープライズにおけるプロダクトオーナー/プロダクトマネージャーになる
- PIプランニングの準備をする
- PIプランニングをリードする
- イテレーションを実行する
- プランニングインターバルを実行する
- SAFe® Product Owner/Product Manager認定資格を取得する



Having a clear methodology and training in place has been very helpful when hiring people. Being able to tell candidates that we take Agile principles seriously—by mentioning that we have trained and certified Product Owners and Scrum Masters, and that we follow a clear Agile path—definitely makes a difference.”（明確な手法とトレーニングが確立されているため、人材を採用する際に非常に役立ちました。トレーニングを受けた認定資格を持つプロダクトオーナーやスクラムマスターが社内にて、明確なアジャイルの道を辿っていることに言及することにより、アジャイル原則を真剣に受け止めていることを候補者に伝えられることは、確実に違いを生み出します）

— Walter Bauer氏、CTO、censhare社



前提条件

このコースは、経験の有無にかかわらず、どなたでも参加可能です。ただし、SAFe® Product Owner/Product Manager (POPM) 6.0 認定試験を受験する予定がある場合、以下の受講要件を満たしていることをお勧めします。

- Leading SAFe®コースへの参加
- SAFe環境での業務経験
- リーン、アジャイル、またはその他の関連する認定資格取得の経験



提供されるもの

クラスへの受講登録により以下のものが提供されます。

- 受講者向けワークブック
- SAFe® Product Owner/Product Manager (POPM) 6.0 認定試験の準備資料と受験資格
- SAFe Studioの1年間のメンバーシップ
- コースの修了証明書

受講者は、受験資格を得るために2日間のコースを2日とも受講する必要があります。

Professional Development Unit (PDU) とScrum Education Unit (SEU)



- 受講者は、プロジェクトマネジメント協会 (PMI) の提供するPMP、PgMP、PMI-ACPの認定取得に向けた継続教育要件を満たすために、15単位のPDUをPMIに申請可能
- 受講者は、Scrum Allianceを通じたCSPの取得または更新に向けて、カテゴリCのSEUを申請可能



→ コースの受講登録はこちら scaledagile.com/calendar

SAFe® カリキュラム

幅広い内容を扱い、進化を続けるScaled Agileのカリキュラムは、SAFeの実装を成功させる上での基礎であり、トランスフォーメーション全体の要となります。世界クラスのコースウェアの豊富なポートフォリオは、組織がビジネスの成果を引き出し、チームを維持し、新しい才能を引き付けるのに役立ちます。そして、デマンドの高い認定は、個人がSAFe組織内で重要な役割を果たし、フレームワークにおける実践、コンサルティング、または他者へのトレーニングを通じてキャリアを進展させるのに役立ちます。



SAFeの認定試験付きトレーニングコース一覧

- **Implementing SAFe®**
SAFe® Practice Consultant (SPC) 6.0認定試験付き
- **SAFe® DevOps**
SAFe® DevOps Practitioner (SDP) 6.0認定試験付き
- **Leading SAFe®**
SAFe® Agilist (SA) 6.0認定試験付き
- **SAFe® for Government**
SAFe® Government Practitioner (SGP) 5.0認定試験付き
- **SAFe® for Teams**
SAFe® Practitioner (SP) 6.0認定試験付き
- **Agile Software Engineering**
SAFe® Agile Software Engineer (ASE) 5.0認定試験付き
- **SAFe® Scrum Master**
SAFe® Scrum Master (SSM) 6.0認定試験付き
- **SAFe® for Architects**
SAFe® Architect (ARCH) 6.0認定試験付き
- **SAFe® Advanced Scrum Master**
SAFe® Advanced Scrum Master (SASM) 6.0認定試験付き
- **Lean Portfolio Management**
SAFe® Lean Portfolio Manager (LPM) 6.0認定試験付き
- **SAFe® Release Train Engineer**
SAFe® Release Train Engineer (RTE) 6.0認定試験付き
- **Agile Product Management**
SAFe® Agile Product Manager (APM) 6.0認定試験付き
- **SAFe® Product Owner/Product Manager**
SAFe® Product Owner/Product Manager (POPM) 6.0認定試験付き

→ SAFEキャリアの道のりはここから始まります
scaledagile.com/calendar

Work Differently.
Build the Future.

